

秋田に新しい風を!!

活動ニュースレター | 2026.03 ISSUE | Vol.02

秋田県議会議員

辺じゅんのすけ

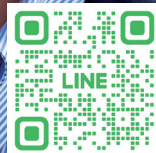
つよく、ゆたかな秋田に!

初当選年度を無事に終えられました。昨年6月の一般質問から始まり先の2月の一般質問まで、本当にたくさんの方に成長させていただいた1年間でした。ありがとうございます。

1年を振り返ってみて、まだまだ秋田には底力があるなと感じます。海外からも見に来るぼんでんやお神輿、エネルギーの国際組織が「日本の洋上風力の未来像」と呼ぶ地域、パリやニューヨークでも売られるようになったいぶりがっこ。

秋田の未来は「やればどうにでもできる」。大好きな秋田のため、2026年もチャレンジし続けます。

県政などをタイムリーに報告する公式アカウントを開設しました。登録をお願いします!



じゅんのすけが訴えてきたこと

空き家問題

水害対策

指導者問題

クマ対策

子どもたちがやりたいスポーツを秋田でできるように、良い指導者の確保を進めてほしい

A



教育長

令和7年から8年振りに保健体育の特別選考試験を再開し、国際大会での日本代表選手など陸上、スキー、柔道の競技者3名を採用した。県内外の中学生が、秋田で全国レベルを目指せる環境を作っていく。

優秀な指導者の採用により、子どもたちが県外に行かなくても選手として成長できる環境が整います。今後も積極的な取組を求めています。



じゅんのすけ

空き家問題の解決策は整ってきているが、それが空き家をなんとかしたいという方々に届いていないことが課題。空き家対策の全体像を整理して、周知してほしい。

A



部長

市町村の担当の方々が相談を受けたときにしっかりと対応できるように研修を行うほか、今年中に相談者にわかりやすい空き家に関するフロー図などを作成する。

町内などから相談があれば自治体が所有者を探してくれるなど、現場での対応は進んでいます。せっかくの対策が知られていないので使われないというのはもったいない!丁寧な発信を求めています。



じゅんのすけ

政策トピックス

太平川の改修事業

雨が降っても 安心な秋田に!

1 国・県・市が一体となった全国初の計画

川幅を拓けながら水を貯められる水路や下水道整備を組み合わせることで市街地の浸水被害を減らす**全国初の大規模な計画**です。約10年間の事業で、**2023年の浸水被害面積を8割以上減**にします。

2 事業実施中にもしっかりと川が流れるように

JR奥羽本線から下流部分の約5割で工事が完了し、川の水が流れる量は増加しています。桜大橋から上流区間では、立木を切り倒したり河底の土砂を取り除いたりして、**令和11年度からの本格工事前でも川の流れを良く**します。

3 住民一人一人の減災行動を助ける

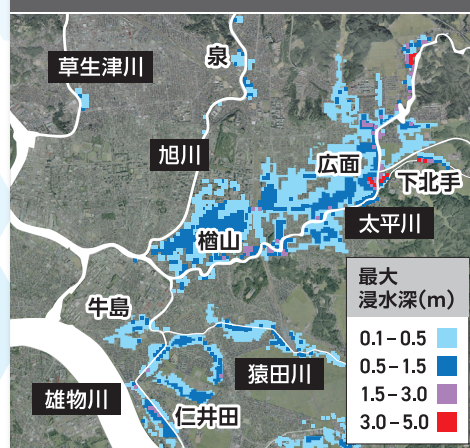
水位観測所を太平本町に新たに追加して、水位に関する情報発信を強化します。また、**水害ハザードマップを使った講演会**などを開催して住民自らの避難計画「マイ・タイムライン」を普及し、住民の皆さんの防災意識を支えています。

Profile 1982年7月 秋田市生まれ
広面在住、2児(10歳と4歳)の子育て中。
東小学校、城東中学校、秋田高校、慶應義塾大学を経て
2008年農林水産省入省。
県議会では農林水産委員会に所属。自由民主党会派。

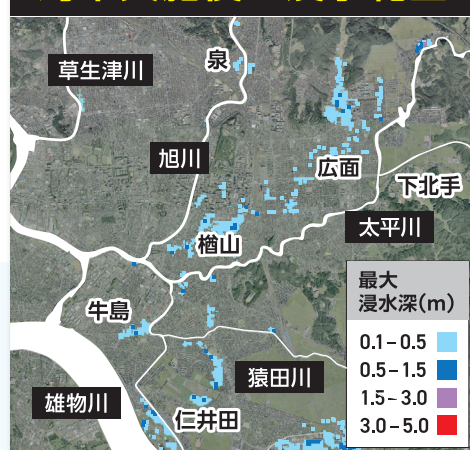
ウェブページとSNSはこちら



令和5年7月の浸水現象の再現結果



対策実施後の浸水範囲



*令和6年時点の想定のものわかりやすくした図です。最新の図は市の発行した元の図をご確認ください。(秋田市提供)

#02

じゅんのすけコラム

予告どおり、霞が関時代にしびれた思い出を。若手の法令担当だったとき、某国から日本へあるものがあるのには大臣と局長と課長と私だけという状況で、ときには外務省に条約の運用を確認しながら、法令解釈を作りました。どんなに知恵をしばっても、法令上の回答は「できない」。相手国との火種になるおそれもある中、3人で大臣室に向かう廊下での心が重い感覚は、今でも忘れられません。ただ、局長が「川辺が詰めて「できない」という回答なら、それしかない。クビだと言われたらおれが辞めるから」と。大臣にも支えていただき収まりましたが、何よりも上司のあり方を学ばせてもらった大きな経験でした。

(次回は一年生のときの教訓などを。)



県政報告や霞ヶ関のおもしろ話を聞きたい方、県議に言いたいことがある方、お呼びいただければどこでも伺います!

川辺じゅんのすけ事務所

〒010-0041 秋田市広面字広面63-1

TEL 080-1021-4702 FAX 018-832-1921
MAIL info@kawabe-junnosuke.com